

「最近のお薬事情②」

病院や医院で処方して頂いたお薬、その飲み方はさて、正しい飲み方をしていくでしょうか。

さて前回（広報9月号）に続いて今回も知っているようで意外に知らないような事を取り上げてみます。ご参考にして下さい。

(3) 赤ちゃんとおくすり

▼粉薬

ドライシロップなどに水に溶ける薬は、スプーンに適量を取り、水かぬるま湯を入れよくかき混ぜて、スプーンのまま飲ませます。その後水かぬるま湯を少量与えて下さい。水に溶けない薬は少量の水かぬるま湯でダンゴ状にこねて、これを清潔な指先につけて上アゴの奥めに塗りつけます。そして、水かぬるま湯を飲ませてください。

薬をミルクなどに混ぜるとミルク嫌いの原因となりますので、ミルクには混ぜない方が良いでしょう。離乳食を始めている場合はヨーグ

ルト・アイスクリームなどと一緒に食べさせることも可能です。熱いものと一緒に食べさせることは成分が変わる危険があるため避けましょう。

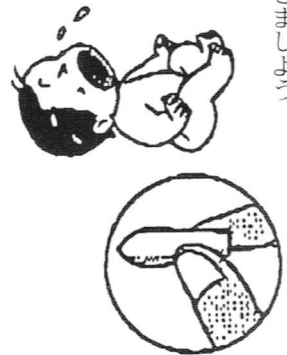
▼目薬

まぶたをゆつくりと開かせ目頭に近い白眼の部分に1〜2滴点眼します。2種類以上の目薬を使用する場合は間隔を5〜10分程あけて点眼してください。まぶたやまぶたに直接触れると、薬が汚染されますので注意してください。開封後は空気が入るため汚染されやすく有効期間は2週間程度となります。

▼坐薬

肛門に入りやすいようにとがった方をかかしく水でぬらし（入りづらい場合はワセリン・ベビーオイルなどを塗ると良い）人差し指の第一関節が入るまで差し込みます。薬が溶けるまで1分程おさえてお

きましょう。



(4) 老人とおくすり

▼老人の病気の特徴とくすり

1人でいくつかの病気を持っています。

↓多くの種類の薬を飲んでいる

↓別々の病院や診療所の薬を重複して飲んでいる

↓長い間くすりを飲み続ける

○薬の量や、飲み方を間違いやすいので、家族の方が十分注意してあげましょう。

○数種のくすりのうち一部を多く飲んだり、少なく飲んだりしてないか確認しましょう。

○薬が飲めないときは医師に相談

して錠剤や散剤をシロップ剤に変えることも可能です。

○薬を飲むときは上半身を起こした状態で適量の水かぬるま湯と共に飲みましょう。（寝たままの服用は食道にくすりが付着することがあるので止めましょう）

文 黒磯薬剤師会 澤田麻希